

録音・PA 技術科

(昼間部・2 年制)

シラバス

全設置授業科目数	54	うち実務教員授業科目総数	39
全設置授業時間数	1832	うち実務教員授業時間数	972
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業科目数			7
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業時数			174

1 年次 録音・PA技術科 【1 R P】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	基礎知識習得トレーニング	30	4	2	近藤 ほか					講義
	ビジネス基礎講座	8	8	1	芹沢 ほか					講義
	音 響 用 語	28		1	楠元 ほか	○	28			講義
	音 響 概 論	16		1	原 田	○	16			講義
	電気電子の基礎	16		1	末 永	○	16			講義
	電気音声信号		16	1	照 井	○	16			講義
	音 響 機 器 I	22		1	照 井	○	22			講義
	音 楽 史	32		2	松 山	○	32			講義
	舞台機構講座	8	16	1	見上・吉井	○	24			講義
	映像音響検定講座		16	1	永 谷	○	16			講義
	効果音制作		20	1	石丸・吉井・金子	○	20			講義
	動画音声制作概論	8	8	1	染谷・内村ほか	○	16			講義
	演習 企画立案 / シナリオ	8	8	1	見 上	○	16			演習
	パッケージメディア研究	15	15	2	見上・塩田	○	30	☆	30	講義
	英 語	20		1	コールマン・見上					講義
	演習 音響工作	20		1	下 久 保	○	24			演習
	演習 機器オペレーション I	32	8	2	近藤 ほか					演習
	演習 機器オペレーション II	12	12	1	波多腰・溝淵					演習
	実習 音響実技	36		1	波 多 腰	○	36	☆	36	実習
	O n g e i 実技判定	10	10	1	近 藤					演習
専門科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技 I	28	32	4	楠元・波多腰	○	60			演習
	照 明 概 論	16		1	赤 本	○	16			講義
	聴 能 形 成	8	8	1	見 上	○	16			講義
	音 場 入 門 I		18	1	中 原	○	18			講義
	演習 ダビングミックス		32	2	波 多 腰	○	32			演習
	音 響 機 器 II		16	1	楠 元	○	16			講義
	スタジオ実技判定		16	1	近藤 ほか	○	16			演習
	演習 レコーディング技法		20	1	波 多 腰	○	20	☆	20	演習
	P A シ ス テ ム	16	16	2	高橋(宏)ほか	○	32			演習
	音響機器実技判定		16	1	近 藤					演習
	演習 ホール S R I		16	1	加 藤	○	16			演習
総合・その他	演習 ステージ課題制作		64	4	吉井・近藤	○	64			演習
	ライブ制作インターンシップ		16	1	各 担 当	○	16			実習
	企 業 研 究	2	2		進路指導部					講義
	ワークガイダンス	2	4		各 担 当					講義
	企業インターンシップ	8	8	1	各 担 当					実習
	ガイダンス	12	8		近 藤					講義
	合 計	413	433	46		634	86			

2 年次 録音・PA技術科 【2 R P】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論	16		1	巻島・磨知 田中・加島	○	16			講義
	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ	28		1	永谷・波多腰 高橋(喜)	○	28			演習
	映 像 制 作 概 論	16		1	港	○	16			講義
	映 像 音 響 検 定 講 座 Ⅱ	16		1	永 谷	○	16			講義
専門科目	音 場 入 門 Ⅱ	34		2	中 原	○	34			講義
	立 体 音 響 演 習	32		1	中原・染谷	○	32			演習
	演 習 マ ス タ リ ン グ	16		1	森 崎	○	16			演習
	演 習 M A	32		2	内 村	○	32			演習
	実 習 映 像 音 響 制 作	60		2	水野・高橋(喜)	○	60			実習
	演習 マルチトラックレコーディング	22		1	楠 元	○	22	☆	22	演習
	演習 スタジオレコーディング	16		1	塩 田	○	16	☆	16	演習
	P A シ ス テ ム Ⅱ	24		1	小 松	○	24	☆	24	演習
	演 習 ホ ー ル S R Ⅱ	26		1	大 坪	○	26	☆	26	演習
	演 習 機 器 オ ペ レ ー シ ョ ン Ⅲ	24		1	高橋(喜)ほか					演習
総合・その他	卒 業 制 作	32	560	25	高 橋 (喜)					実習
	ビ ジ ネ ス 実 務	16		1	高 橋 (喜)					講義
	ガ イ ダ ン ス	8	8		高 橋 (喜)					講義
	合 計	418	568	43		/	338	/	88	

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	基礎知識習得トレーニング				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	34	単位	2
担当教員	近藤頌ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	履修科目のうち特に専門性の高い分野や学問的知識の必要となる内容の各種基礎知識について学ぶ。						
到達目標	これから学ぶ履修科目の内容の中で必要となる専門知識の基礎を築く。						
授業計画 学習内容	・ 数学（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 電気（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 物理（音響分野関連の基礎物理知識） ・ PC関係（基礎システム、用語等） ・ 音楽（読譜、楽典等） ・ 一般教養						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	ビジネス基礎講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	社会人として他人とのコミュニケーションを円滑に行える能力を鍛える。						
到達目標	実社会や就職活動において役立つビジネスマナー、文章読解力、及び文章作成力を身につける。						
授業計画 学習内容	・ 会話における正しい表現や意味、敬語・謙譲語等の学習。 ・ テーマに即した意見文やレポート、メールを書けるようになる。 ・ 就職活動時自己PRの作成方法。 ・ メールや電話での言葉使いなど、ビジネスマナー。						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題の提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	音響用語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	楠元剛史ほか		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	レコーディングスタジオで使われている技術用語を中心に、音響業務従事者の使う用語について、原理を含めて易しく解説を行う。						
到達目標	専門用語を知る。同じ用語に違う意味があることを知る。厳密な記憶ではなく概要をアバウトにとらえる。						
授業計画 学習内容	・マイクロホンと収音技術に関する用語 ・ミキシングルームで日常使っている技術用語 ・マルチチャンネル録音に関する用語 ・サウンドエフェクタの基本原理と機能に関する用語 ・デジタル技術に関連する基礎知識と用語						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	音響概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	原田 崇		担当教員 実務経験	元ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)セールスエンジニア。音響機器メンテナンスの経験豊富。			
授業概要	「音とはなにか」をテーマにその学術的知識を深める。						
到達目標	音の特性について学術的（物理的概論）に理解する。						
授業計画 学習内容	・音の大きさ、速さ ・周波数、音色 ・特性定位 ・反射、回折、屈折 ・音の理論 ・音の出る仕組み						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	電気電子の基礎				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	末永信一		担当教員 実務経験	SONY(株)にてリサーチャー、エンジニアとして長年勤務。現在は（一社）日本オーディオ協会専務理事			
授業概要	本校実習授業でも扱う音響映像機器の動作に必要な「電気」とは何かを知る。						
到達目標	電気電子の基礎知識を習得すると共に、問題意識を持って動作の想像力を養う。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ 直流、交流について ・ 絶縁体、誘導体、半導体について ・ アナログとデジタル ・ 映像、音声について						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	電気音声信号				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	電気、回路、機器についての学術的知識を深める。						
到達目標	電気、回路、機器についてより高度な内容を学び、各専門科目に応用できる知識を習得する。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ アース/接地 ・ 補助記号 ・ 平衡と不平衡 ・ インピーダンス ・ 電気部品、パーツ ・ 音響回路 ・ ダイナミックレンジとSN（シグナル・ノイズ比） ・ 各種レベルメーター						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	音響機器Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	22	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	音響業務で使用する機材について学ぶ。						
到達目標	音響機材の仕組みや構造を業務レベルで理解できるようになる。						
授業計画 学習内容	・スピーカーシステム ・ミキシングコンソール ・マイクロホン ・パワーアンプ それぞれの音響機器の仕組み・構造・設計・ブロックダイアグラムの見方等						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	音楽史				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	2
担当教員	松山文哉		担当教員 実務経験	プロミュージシャン(ピアノ、キーボード)。バックミュージシャンとして多くのプロアーティスト作品に参加。			
授業概要	音楽の歴史と変遷を知り、知識を広げる。						
到達目標	様々な音楽を実際に聞き、その変遷を追うことで、音楽についての知識を広げる。						
授業計画 学習内容	・ アフロアメリカンミュージックとクラシック音楽の流れ ・ ブルース ・ ジャズ ・ クラシック音楽 ・ カントリーミュージック ・ R&B ・ ロック、ソウル、ファンク ・ ボサノヴァ ・ 日本の古典音楽						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	舞台機構講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	見上陽一郎 吉井真		担当教員 実務経験	映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。(吉井)、舞台機構調整技能1級技能士(見上)			
授業概要	劇場、ホールの技術スタッフに必要な知識を身につけるとともに、舞台技能調整技能士3級筆記試験の模擬試験に取り組む。						
到達目標	舞台機構調整技能検定3級筆記試験の合格						
授業計画 学習内容	●音響、照明、舞台装置などの舞台機構解説 ● 舞台機構調整技能検定3級筆記試験の過去問題集、 1～3級レベルの模擬問題集への解答と解説						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	映像音響検定講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンド・プロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	JPPA映像音響処理技術者資格認定試験、試験対策。						
到達目標	JPPA映像音響処理技術者資格認定試験合格を目標とする。						
授業計画 学習内容	・ テレビ放送の歴史/映像制作の流れ ・ テレビモニターの画像表示の仕組み ・ 色とはなにか？～光と色の関係～ ・ カメラについて ・ 映像信号について ・ 映像端子の種類 ・ 映像編集とは？ ・ 映像の効果/合成の種類 ・ タイムコード						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	効果音制作				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	石丸耕一 吉井真 金子智充		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄に記載			
授業概要	効果音の役割・使い方・作り方						
到達目標	制作実習・卒業制作で台本を読み解き、効果音を制作できるようになる						
授業計画 学習内容	●効果音の役割と使い方と作り方の説明。台本の読み解き方・演出をシュミレートする。 担当：吉井 実務経験：映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。 ●効果音の作成方法について。レクチャー後は学生が実際に効果音を作成し、録音したコンテンツを試聴してみる。 担当：石丸 実務経験：舞台音響家として歌舞伎座、新橋演舞場などで伝統芸能や商業演劇の音響に従事。東京芸術劇場統括。 ●ゲームの効果音について。サウンドデザインの企画や演出、ゲームサウンドの制作行程について実務経験をもとにレクチャーする。 担当：金子 実務経験：ゲームコンテンツ制作会社でサウンドデザイナーとして勤務。						
成績評価 方法	100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	演習 企画立案／シナリオ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	制作会社にて万国博上映動画の企画制作、音楽 ライブイベントの企画制作に長年従事			
授業概要	企画の立て方、企画書作成法、様々な媒体によるシナリオフォーマットについて学ぶ						
到達目標	企画立案、企画書作成、シナリオ作成とシナリオの読み解きができるようになる						
授業計画 学習内容	●企画や企画書はなぜ必要か ●ブレインストーミング演習 ●企画の5W1H ●企画書作成演習 ●シナリオの各種フォーマット ●シナリオ作成演習（動画、音声ドラマ）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60 点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	パッケージメディア研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	30	単位	2
担当教員	見上陽一郎 塩田修		担当教員 実務経験	制作会社にて万国博上映動画の企画制作（見上）、レコーディングエンジニアとしてSony Music勤務後フリーランスで活躍（塩田）			
授業概要	音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を学び、作品の鑑賞、分析を行う						
到達目標	音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を知り、鑑賞力を高める。						
授業計画 学習内容	1.音楽ソフトの制作工程 2.音楽ソフトの鑑賞と制作手法の分析 3.動画の単位 4.ショットの決定要素と名称及び心理的効果 5.モンタージュの基礎 6.動画作品における音の演出法 7.ドキュメンタリー作品をめぐる考察						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	英語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	20	単位	1
担当教員	ブレット コールマン		担当教員 実務経験	—			
授業概要	簡単な英会話、英語の聞き取りを反復的に演習						
到達目標	英語に対する苦手意識を軽減し、制作現場で英語でコミュニケーションを取る勇氣と自信を醸成する						
授業計画 学習内容	●英語での自己紹介 ●簡単な会話の聞き取りと意味、文法解説 ●英語楽曲のディクテーション 担当講師紹介： 米国シアトル出身、来日後３５年にわたり俳優英語教師として活動						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記および実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	演習 音響工作				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	20	単位	1
担当教員	下久保将人		担当教員 実務経験	音響・映像を関わる多くの設備工事に11年携わる。			
授業概要	音響・映像設備で使われている、ケーブルやコネクタの知識を身に着ける。						
到達目標	XLRコネクタ・TRSコネクタの正しいピンアサインを知り、 テスターでチェックが出来るようになる。 可能であれば端末も出来るようになる。						
授業計画 学習内容	・一回目： 設備におけるケーブル・コネクタについて。 ・二回目： テスターの使い方。電池について。機材のマウント方法。 ヘッドホンの解体・組み立て。 ・三・四回目： ユニバーサル基板のハンダ付。ケーブルへのコネクタ付。 コネクタ外し。 ・五回目：テスト 内容は、XLR3Pinオス－XLR3Pinメス一本作成と テスターでの自己チェックをして提出。 評価はその授業時間内にて。 番外編：簡易スピーカーを作ってみる。						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅠ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	40	単位	2
担当教員	近藤頌ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	各実習に先立ち、基本的な音響機材の名称や使用法を学ぶ。（前半） 遠隔講義、座学、各演習で習得した技術を実践する。（後半）						
到達目標	基本的な技術の習得と実践を通し、学生の自主性、コミュニケーション能力を鍛える。						
授業計画 学習内容	（前半） ・ ケーブル、コネクタ、端子等の名称 ・ ケーブル巻き ・ 音響卓の使い方 ・ マイクスタンドの扱い方 ・ 回線チェックのやり方 ・ エフェクターの使い方 （後半） ・ 学内実習施設での演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅡ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	波多腰英靖 溝淵友香莉		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内実習教室の使用法説明						
到達目標	学生が主体となり安全な学内実習施設の使用を目論む						
授業計画 学習内容	・LiveQ教室（演劇・ミュージカルの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館801教室（音楽イベントの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館9Fスタジオ（音楽レコーディング等実習スタジオ）説明 ・メディアセンター地下スタジオ（映像音響等実習スタジオ）説明						
成績評価 方法	授業への積極的な参加・出席状況にて評価し単位を付与						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	実習 音響実技				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	36	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。			
授業概要	音を聞く、收音する、記録する、編集する といった基礎的な音響作業の習熟						
到達目標	音のモニタリング能力を開拓 フィールドワーク機器を用いた録音作業の習得 ノンリニア編集による作品作成過程の習得						
授業計画 学習内容	各作業におけるモニタリング ・音のモニタリングについて サウンドドラマ素材のためのロケ実習 ロケを通じた收音、録音作業習得 ・マイクロホン使用法 ・レコーダー使用法 ・ロケ実習 ProToolsを用いた音源制作作業 ・音源制作実習						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品提出課題と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	Ongei実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	基礎的音響作業の習熟を図る。各項目の作業習得のため反復練習を行う。						
到達目標	音響作業に共通する初歩的動作の習得 3級舞台機構調整技能士実技試験への準備						
授業計画 学習内容	ケーブル巻き(8の字)習得 マイクスタンドの実務的活用を習熟 各種チェック作業の習得						
成績評価 方法	実技判定試験により100点満点で採点						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	60	単位	4
担当教員	楠元剛史 波多腰英靖		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	コンピューター環境でのデータ管理習熟 ProToolsを用いた録音、編集、ミックス作業の習得						
授業計画 学習内容	Apple製デスクトップコンピューターでのデータ管理方法演習 ProToolsを用いて演習課題へ取り組む ・ProToolsData構築 ・ProToolsでの録音作業 ・ProToolsでの編集作業 ・ProToolsを用いての課題提出 担当教員の实務経験： ・2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部に てディレクター業務。（楠元） ・年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級 舞台機構調整技能士。（波多腰）						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出や授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点 以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	照明概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	赤本龍太		担当教員 実務経験	長年に渡り、ライブハウスの照明技術、音楽ライブ・演劇の照明デザイナーとして活躍。			
授業概要	ライブ照明と舞台照明の違いの説明、及び照明機材、灯体の説明。 遠隔講義での学習内容を踏まえ、実際に機材を使ってオペレーションをする。						
到達目標	照明機材の名称、使用法を理解し、場面に合わせたオペレーションを考えることができる。						
授業計画 学習内容	遠隔講義 ・照明技士の仕事、現場における役割 ・仕込みの手順説明 ・灯体の種類、照明機材の分類、設置位置による名称 実演 ・ライブ、舞台による照明アプローチの違い ・ライブ照明用指示シートの読み方、書き方 ・舞台台本の照明デザイン ・照明卓の操作説明						
成績評価 方法	100点を満点とし、提出物および出席点などの総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	聴能形成				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	「聴能トレーニングCD」（キングレコード） の制作を指揮、発売			
授業概要	音を聴き分ける能力を様々なトレーニング音源の聴き取り演習と、それに関する音響学的な解説を行う						
到達目標	音響技術者。音響コンテンツクリエイターに必要な音の聴き分け能力と関連知識を身に付ける						
授業計画 学習内容	毎回、技術解説とともに、聴能トレーニング用音源を教室内で再生し、答え合わせを行う。 ・ピッチの弁別 ・周波数の識別 ・音圧の弁別 ・音色の弁別 ・リズムパターンの弁別 ・音程の弁別 ・読譜聴音 ・連音の記憶 など						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	音場入門Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	18	単位	1
担当教員	中原雅考		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役			
授業概要	音という物理現象を学ぶための基礎を学ぶ						
到達目標	オブジェクト臨場感、フィールド臨場感を意識した 3Dシーンベースのミックスを作る						
授業計画 学習内容	01. 音とは？ 02. 音波の基本要素 03. 音場を構成している物理現象 04. 音場再現（Ambisonics） 05. 音場再現実習1：ReaperとAmbisonicsプラグインの基礎知識 06. 音場再現実習2：FOAエンコーディング（Ambisonics録音） 07. 音場再現実習3：FOAデコーディング（3Dミックス）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習　ダビングミックス				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	「生もの」としての音を認識し 「生ものとしての音」を扱うことに慣れる						
到達目標	サンプラーを用いてリアルタイムでの音響作業を体験する						
授業計画 学習内容	課題台本からの作品理解演習 サンプラー操作の習熟 ・SP404オペレーション ・abletonLive運用 サンプラー素材作成実習 ・ProToolsを用いた素材作成 発表形式でのダビングミックス						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品発表と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	音響機器Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	基本的な音響機器の構造や動作原理を理解する。						
到達目標	構造を理解し、実際の使用時にイメージを持てるようになる。						
授業計画 学習内容	・ミキシングコンソールの機能と信号の流れ ・エフェクター類の種類と仕組み・使用方法 ・アナログテープレコーダーの構造と動作原理						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習 レコーディング技法				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	物理現象を電気信号に変換することについての理解を深め、マイクへの理解を深める 声の録音(収音) 楽器の録音(収音)						
到達目標	学生が主体となつてのマイク選定、マイクセッティングを目標とする						
授業計画 学習内容	マイクロホンの特徴理解のための実験 ・ 型番、構造的特徴、指向性 録音スタジオでの模擬ラジオ番組制作 ・ 音声収録実習 ・ リアルタイムプログラムの録音 ピアノ録音 ・ 楽器収録演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	PAシステム				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	高橋宏幸ほか		担当教員 実務経験	PAエンジニアとして(株)サウンドマン（現・(株)ミックスゾーン）勤務後、現在SRテックプランニング代表。			
授業概要	P A システムのプランニングのために必要な知識、具体例を学ぶ。学内での P A 実習を行う時に必要なプランニングが出来るように実際に図面を作成し、理解修得する。						
到達目標	仕込む際の工夫・注意点、トラブル時の対処を身を以て体感し、理解を深める。						
授業計画 学習内容	・ PAの仕事 ・ 回線表の見方 ・ セット図の見方 ・ 回線プラン ・ 信号の流れ ・ ステージ仕込み ・ 回線チェック ・ ミキサーから音を出す ・ 自分のプランで仕込む						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	音響機器実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	舞台機構実技判定 3 級実技試験に向けた基礎訓練						
到達目標	舞台機構実技判定3級実技試験に合格できるようになる						
授業計画 学習内容	・ 班別（少人数）での個別指導 ・ 実技全体の流れを練習 1.仕込み 2.回線チェック 3.ナレーター案内（3～5のコミュニケーション） 4.サウンドチェックリハーサル 5.本番 6.ばらし/原状復帰						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習　ホールSRⅠ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	加藤晴美		担当教員 実務経験	(株)キャット、(株)クレア・ジャパンを経て 1998年に（有）ハルソニックを設立。			
授業概要	実践的なP Aについて機材に触れながら学ぶ。 学外施設を使用し、機材の搬入・設営・撤去・搬出を学ぶ。						
到達目標	ホールでの音響機材使用について体験し、理解を深める。						
授業計画 学習内容	・スピーカーチューニング ・プランニング ・コンソールの結線と使用法 ・舞台での搬入から搬出まで ・大型機材の設置 (スピーカの設置、客席へのコンソール設置)						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習　ステージ課題制作				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	64	単位	4
担当教員	吉井 真　近藤 頌		担当教員 実務経験	映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。(吉井)			
授業概要	プロの役者と共に、学生の照明と音響と舞台スタッフで舞台を作る						
到達目標	舞台制作の進め方を体験する						
授業計画 学習内容	●数班に分かれ、音響・照明・舞台スタッフを構成する。 ●プロの演出家と役者とともに、 打ち合わせ～ 稽古～ LiveQ仕込み～ 場当たり～ ゲネプロ を実践してみる。 ●プロと言葉を交わし、舞台制作に必要な段取りやコミュニケーションや照明・音響の知識・技術の必要性を感じさせる。						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	ライブ制作インターンシップ				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	音響会社／ライブハウスでの実務経験5年以上の技術者			
授業概要	提携先ライブハウスや音響会社における就業体験						
到達目標	大規模音響システム設営／オペレート現場の就業体験、ライブハウススタッフとしての就業体験を通じて、現場の実態を知るとともに、またスタッフとしてのコミュニケーションスキル／操作スキルの向上を図る						
授業計画 学習内容	1. 提携先担当者からの就業体験概要説明 2. 大規模コンサート現場、ライブハウスイベントにおいての現場就業体験						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	総合・その他	
授業科目	企業研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	4	単位	—
担当教員	進路指導部		担当教員 実務経験	—			
授業概要	本学の学生が興味を持つような、音響や照明、レコーディング、マスタリング関連会社の関係者を招き、特別講義をしていただく。						
到達目標	本学学生の就職目標となる各業種の職種やその職務内容を知り、自己の適性やその職種を目指すための学習計画や心構えを構築する。						
授業計画 学習内容	・音楽コンテンツ技術制作関連企業関係者による講義 ・舞台技術制作関連企業関係者による講義 ・放送技術制作関連企業関係者による講義 ・専門機器取扱い企業やメーカー企業関係者による講義 ・企業訪問 音楽録音スタジオ 映像編集スタジオ PA技術会社 劇場／ホール 等						
成績評価 方法	—						

学科	録音・PA技術科				系列	総合・その他	
授業科目	ワークガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	6	単位	－
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	－			
授業概要	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
到達目標	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
授業計画 学習内容	1. コンサート／演劇音響 2. レコーディングエンジニア 3. 放送音声（音声収録／音響効果選曲／MA） 4. 映画音響 5. 動画撮影 6. 動画編集 7. 舞台照明／舞台装置 8. 制作／演出						
成績評価 方法	－						

学科	録音・PA技術科				系列	総合・その他	
授業科目	企業インターンシップ				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	在学中の学生を一定期間、企業、団体に研修生としてお預けし、実務経験を踏ませる						
到達目標	実務経験を通じて、業界の現状を肌で知るとともに、社会人として自立するための心構えを醸成する。						
授業計画 学習内容	1.派遣先担当者との打ち合わせ 2.派遣先担当者からのブリーフィング （企業、団体の業務内容、インターン生の活動内容やルール等に関する説明） 3.指定された期間、場所での現場就業体験						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	20	単位	—
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新入生オリエンテーション（シラバス／学則解説など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する詳細説明など						
成績評価 方法	—						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	巻島英司 磨知 隆 田中有香 加島貴彦		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	プロフェッショナルとしてエンタテインメント業界の様々なコンテンツ制作に携わる講師による講話						
到達目標	エンタテインメント業界の様々なコンテンツに対する理解を深める						
授業計画 学習内容	●広告制作/TVコマーシャルの企画、制作までの流れ・演出手法等。 担当：巻島（広告会社クリエイティブ・ディレクター。多くの企業CMを担当。全日本CMフェスティバル等受賞歴多数。） ●ミュージックビデオ制作/ミュージックビデオ制作プロデュースとは・制作現場や運営の流れ・撮影から編集までの制作技法等。 担当：磨知（音楽番組専門局のスペースシャワーを経て、現在（株）629代表取締役社長。多くのPVやライブ映像の制作技術全般のプロデューサー及び統括を行う） ●映像音響制作の流れ /MAについて（編集、整音、収録、ミックス等）。 担当：田中（1993年よりMA(映像音響)に従事。2003年に(有)サルミックス設立。） ●映像制作 /放送・イベント・コンサートにおける新しい映像コンテンツの制作演出手法について（プロジェクションマッピング、CG等）。 担当：加島（映像プロデューサーとしてMV、TV-CM、Web動画等多くの作品を手がける。）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	永谷喜美雄 波多腰 英靖 高橋喜郎		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	・ AdobeCCの各アプリケーションでの作業習熟 ・ ProToolsを用いた作業、特にMA作業の習熟						
授業計画 学習内容	●Adobeプレミアを用いた映像編集／ソフトウェア使用法、作品・演出意図に合わせた編集法、画質調整、テロップ・エフェクト技法等 担当：永谷（(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。） ●Adobeフォトショップ・イラストレーターを用いた画像編集/ソフトウェア使用法、写真加工・色調整、描画法、テキストの扱い方、画像サイズ管理等 担当：高橋（(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。） ●ProToolsでのMA作業/音声の取込み、音声ファイル管理、整音技法等 担当：波多腰（2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。）						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験、作品提出、ならびに、授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	映像制作概論				授業方法	講義	遠隔
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	港郁雄		担当教員 実務経験	MAエンジニアとしてソニーPCL(株)に勤務。日本ポストプロダクション協会講師および映像音響処理技術者資格認定試験問題作成委員。			
授業概要	映像作品の編集から完成までの過程を映像と資料で講義						
到達目標	映像作品に関する職種や作業工程を知識として習得						
授業計画 学習内容	1.プリプロダクションとは 2.プロダクションとは 3.プロダクションの作業内容 / 演出・撮影・照明 4.プロダクションの作業内容 / 音声収録・CG,VFX合成 5.ポストプロダクションとは 6.MAとは 7.マスタリングとは 8.レポート課題作成						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	共通科目	
授業科目	映像音響検定講座Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	映像・音響検定試験合格を目標に、極力身近な機材の話や実際のＴＶ番組制作の過程を折り込みながら興味深く解説をしていく。						
到達目標	検定試験受検者は資格取得。試験問題演習を行い、映像音響技術者に必要な知識を身につける。						
授業計画 学習内容	・ＴＶの原理／色彩と色温度。磁気記録の原理／ＳＤＴＶとＨＤＴＶ ・ＶＴＲのフォーマットとビデオ信号の種類，デジタルビデオとアナログビデオの違い ・ビデオ編集の実際（合成などを含めて） ・ＴＶ番組，ビデオ作品の制作過程（編集を中心に）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	音場入門Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	34	単位	2
担当教員	中原雅考		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役			
授業概要	音場入門Ⅰの内容を踏まえ、物理音響に関する知識と理解を深める。						
到達目標	バーチャル38chスタジオをDAW(Reaper)の中につくり HOA（Higher Order Ambisonics：高次アンビソニック）で 3Dミックスを行う。室内の残響時間を測定し室内音響チャートを作成する。						
授業計画 学習内容	01. 仮想38chスタジオでの3Dミックス（概説、Reaper操作、実習） 02. デシベルの足し算 03. 二重音源（音響ダブレット） 04. 距離減衰と空気吸収 05. 鏡面反射，拡散反射 06. 吸音 07. 部屋の響きとは？ 08. 響きの重畳とインパルス応答 09. 幾何音響学 ～中域の世界～ 反射と位相干渉 10. 統計音響学 ～高域の世界～ 残響理論 11. 波動音響学 ～低域の世界～ モードと低域特性						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	立体音響演習				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	1
担当教員	中原雅考 染谷和孝		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役(中原) サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)			
授業概要	インパルスレスポンスの測定とFOAリバーブの作成を行うための解説を中心に立体音響への理解を深める。						
到達目標	インパルスレスポンスの測定とFOAリバーブの作成を行い、3Dミックスを作成する。						
授業計画 学習内容	01. インパルス応答の測定とFOAリバーブ作成 02. チャンネルベースではない OBA & SBA ミックス 03. 実習：FOAリバーブ採取 04. 実習：FOAリバーブ生成 05. 06. 実習：OBA & SBA ミックス 07. 再生環境セットアップ 08. ミックス作品発表 & 試聴						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習 マスタリング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	森崎雅人		担当教員 実務経験	長年マスタリングエンジニアとして従事。 TinyVoice,Rproductionチーフエンジニア。			
授業概要	音楽制作者の音の聴き方とリスナーの音の聴き方のちがいを理解したくさんの聴き きらべの実習を通して「ちがいが分かった」という体験をしてもらう						
到達目標	音楽を楽しんで聴くのではなく観察するように聴くという音楽制作者の音の聴き方 の基本を修得する						
授業計画 学習内容	・音楽制作者とリスナーの音の聴き方の違い ・リファレンス音源の選び方と使い方 ・モニタースピーカーの正しい置き方 ・GEQで帯域の特徴や楽器について理解する ・パラメトリックイコライザー.コンプレッサー.リミッターの基本と演習のプロと としての使い方のコツやヒントを伝授 ・総合演習でマスタリングのプロセフト音を仕上げる楽しさむずかしさを体験を通して 学ばせる ・それぞれの学生の個性を活かしての授業 ・お互いの音を比較しながら音を表現する・言葉の大切さコミュニケーションのきっかけなども 学ばせる						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与す る。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習　MA				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	2
担当教員	内村和嗣		担当教員 実務経験	元NHKの音響技術者として勤務。スタジオ シ エロフルソ。			
授業概要	「MA」という仕事を知る。 MA作業を行う際の心構えを知る。						
到達目標	活きた音を扱う気持ちを携える。						
授業計画 学習内容	・ MAとは ・ MA作業の流れ ・ MA作業で使用する音響機器 ・ MAとサウンドデザイン ・ 映像作品での音の演出 ・ 活きた音とは						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	実習 映像音響制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	60	単位	2
担当教員	水野博章 高橋喜郎		担当教員 実務経験	CM制作会社を経てフリーランス。ミュージックビデオ、パッケージDVD、舞台DVD演出等のプロデュース/ディレクションを多数手がける。（水野） (有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集に、プロモーション従事。（高橋）			
授業概要	グループ活動でのそれぞれの役割を理解し映像制作を行う						
到達目標	企画書やシナリオをグループ内で話し合い、作品を制作する中で制作ノウハウや撮影技術全般を習得する						
授業計画 学習内容	・ 授業概要 の説明 映像制作の流れ / シナリオの基礎 / 企画書の書き方 ・ 算・スケジュール・キャスティング・ロケ地について ・ 香盤表および撮影スケジュールの組み方 ・ 撮影/照明機材についての基礎レクチャー 各種機材の説明・取り扱いについて ・ 編集およびMA作業を行を完パケフォーマットにする						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品出来栄えおよびレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習 マルチトラックレコーディング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	22	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	インラインコンソールを用いたマルチマイク、マルチトラックレコーディングの技術と手法について、9Fスタジオにて学ぶ						
到達目標	音楽録音スタジオ業務の体験をし、作業の流れを知る。 学生だけでマルチマイク・マルチトラックのレコーディングができる。						
授業計画 学習内容	ドラムのマルチマイク・マルチトラックレコーディング ボーカルのオーバーダビング エディット ミックスダウン						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習 スタジオレコーディング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	塩田修		担当教員 実務経験	レコーディングエンジニアとしてSony Music、その後はフリーランスで活躍			
授業概要	ミュージシャンをよび、実際の音楽レコーディングさながらの録音作業を行う。 ミュージシャンとのコミュニケーションの重要性を理解する。						
到達目標	ミュージシャンとのコミュニケーションを含め、学生だけでマルチトラックレコーディングができる。						
授業計画 学習内容	●機材・レコーディングプラン ●セッティング～回線チェック～サウンドチェック ●レコーディング ●オーバーダビング ●エディットとミックス						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点および提出物の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	PAシステムⅡ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	小松久明		担当教員 実務経験	PAエンジニア／サウンドデザイナーとして アーティストのライブ音響を多数手掛ける。			
授業概要	録音された音源を使い、アナログコンソールとデジタルコンソールのミキシング手法を学ぶ。 基本的な各楽器へのイコライゼーション、ボーカルへのエフェクターのアプローチを学ぶ。						
到達目標	良い音、素晴らしいミキシングを完成するよりも、音を扱う楽しさ、ミキシングの難しさを体験してもらい、ミキシングコンソールに対する理解を深める。						
授業計画 学習内容	1, ドラム、ベースのリズム楽器へのイコライゼーション、バランスの作り方 2, ギターのイコライゼーション、バンドミキシングのアプローチ 3, ボーカルのイコライゼーション、エフェクター（Reverb）の使い方。						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への参加姿勢およびレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ホールSR II				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	26	単位	1
担当教員	大坪宏昌		担当教員 実務経験	コンサート音響、企業カンファレンスや展示会など様々な音響現場のオペレートやシステム設計に携わったのちフリーランスのオペレーターとして活動中			
授業概要	デジタルコンソールを使用し、ホールでの音響機材設置および実際の業務を想定した音響作業を、演習授業を通じて体験する						
到達目標	ホールにおける音響機材の安全な設置方法、デジタルコンソールを使用したオペレート作業の習得						
授業計画 学習内容	・オリエンテーション ・機材プランニング ・資料作成 ・学内施設でのシステム確認 ・ホール演習（機材設置・FOHおよびモニターエンジニアの体験・アコースティックの生演奏をライブミキシング）						
成績評価 方法	100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	専門科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅢ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	高橋喜朗ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1年次授業の演習・実習内容と施設・機材の使用法を復習し、応用的な音響/映像/機材やPCソフトウェアの使用法をさらに学ぶ。						
到達目標	ソフトウェア等と専門機器それぞれを理解し、それらを組み合わせたシステム構築と使用法を習得する。						
授業計画 学習内容	PCソフトウェア種類説明 ・ photoshop ・ illustrator ・ ProTools ・ premiere pro ・ Media Encoder 学内スタジオ機器説明 ・ 音響ミキシングコンソール(アナログ卓・デジタル卓・タブレット/PC型) ・ 映像収録用カメラ/照明機材の種類について ・ 撮影素材のデータ変換および取込みの方法 映像作品の制作実施 ・ コンクール用ショート映像コンテンツ						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	総合・その他	
授業科目	卒業制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	592	単位	25
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	これまで学んできた知識や技術を生かし、自信が主体となり作品を作り上げる。						
到達目標	作品を企画から制作し、完成させる。						
授業計画 学習内容	・ 作品の研究と分析 ・ 企画立案と企画書作成 ・ 構成・脚本・制作意図について ・ 作品制作、発表へ向けての準備 ・ YouTubeをプラットフォームとし、動画作品をオンライン発表						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	総合・その他	
授業科目	ビジネス実務				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	就職活動や就業時のマナー、書類作成に関するスキルの向上をはかる						
到達目標	基礎的なビジネスマナーの習得						
授業計画 学習内容	・採用担当が就活生に求めるものとは ・自己分析 ・自己PRとは ・ビジネスメールのマナー ・電話対応のマナー ・模擬作文試験 ・ポートフォリオ作成						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への参加姿勢・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	録音・PA技術科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	—
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など						
成績評価 方法	—						